

令和5年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者	社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会
指定期間	令和2年4月1日～令和12年3月31日
施設概要	施設入所・短期入所・通所リハビリテーションサービス（予防含む）
市支出額	無し

2. 事業の実施状況

各サービスの利用状況	<p>（令和5年度実績）</p> <p>(1) 施設入所・短期入所（予防含む） 定員100名 利用者数：30,190人（延べ） 82.5人（1日平均）</p> <p>(2) 通所リハビリテーション（予防含む） 定員40名 利用者数：8,285人（延べ） 26.7人（1日平均）</p>
リハビリテーションの充実	<p>(1) 個別リハビリテーションの実施（入所） 入所では、個別リハビリテーションに取り組み、一人ひとりの利用者様に対して具体化したリハビリを実施しました。</p> <p>(2) 集団リハビリテーションの強化（通所） 通所では、運動と認知の2つのトレーニングを同時に行う（マルチタスク）「若返り体操」を集団で行いました。 これにより認知機能の改善が多くの利用者に見られました。</p> <p>(3) 在宅向けリハビリの実施 在宅復帰を目的とした、在宅訪問を実施することによる、在宅生活を見据えた、リハビリテーションを実施しました。</p>
行事・レクリエーションの充実	<p>(1) 入所</p> <p>①職員によるレクリエーションの実施（毎日）</p> <p>②季節に応じた行事の実施 新型コロナウイルスが5月に5類に移行し、徐々に感染防止対策を緩和して行事に取り組みました。10月には「秋祭り」を4年ぶりに開催しました。</p> <p>(2) 通所</p> <p>①職員によるレクリエーションの実施（毎日） 利用者様それぞれの機能レベルに合わせたレクリエーションを実施出来るよう努めました。</p> <p>②季節に応じた行事の実施 ※節分、七夕、盆踊りなど</p>

<p style="text-align: center;"><b>ボランティアの受け入れ</b></p>	<p>(1) サークル活動ボランティアの受け入れ ボランティアの受け入れを再開し、これまでの喫茶やビューティー、讚美歌の他にも新しく「アフタースクールびあにしも（発達障害・自閉症児童の放課後等デイサービス）」にも参加してもらい歌や踊りを披露してもらいました。</p> <p>(2) 多様なボランティアの受け入れと福祉教育への取り組み 学童保育(夏休み1室)、小学校2校、中学校1校</p>
<p style="text-align: center;"><b>人材育成の推進</b></p>	<p>(1) 外部研修の活用 スキルアップのため外部の研修に積極的に参加しています。 また、外部研修で得た知識、技術を他の職員に還元するため、職員自らが講師となり、内部研修も行っています。 ※外部研修実績：21件 内部研修実績：13件</p> <p>(2) 看護、介護、リハビリ職員の指導力養成 実習生を受け入れることで、将来の人材を育成すると同時に当施設職員の指導力能力の向上が期待できます。制限していた受け入れも徐々に緩和して、看護師57名、教員介護体験17名を受け入れました。</p>
<p style="text-align: center;"><b>危機管理対策の推進</b></p>	<p>(1) 感染予防対策の継続 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5類移行後も入所者への面会は予約制としましたが、フロアでの面会を再開しました。感染予防の研修など、内部の感染対策に関して、細心の注意を払っていましたが、7月にクラスターが発生してしまいました。(入所者8名、職員11名) 令和6年1月1日に発災した能登半島地震には、大阪府災害派遣福祉チーム(DWAT)の災害派遣チーム員1名を派遣しました。(令和6年2月6日～9日の4日間、支援相談員・介護福祉士) 1.5次避難所の避難者の福祉ニーズの聞き取りや情報収集。 令和6年3月に、自然災害用と2類相当感染症用のBCP(業務継続計画)を策定しました。</p>

### 3. 利用者の満足度

#### (1) 利用者アンケートの状況

<p><b>アンケートの結果概要</b></p>	<p>調査期間：令和6年8月15日～令和6年9月30日 ※今回より、紙以外にGoogleフォームでの回答も可能にしました 回答数の( )はGoogleフォームからの回答 &lt;利用者アンケート&gt; 配布数：入所99人 通所68人 全体167人 回答数：入所44人(2人) 通所36人(3人) 全体80人(5人) 回答率：入所44.4% 通所52.9% 全体47.9% &lt;家族アンケート(入所)&gt; (R4から実施) 配布数：99人 回答数：55人(6人) 回答率：55.6%</p>
--------------------------	---

## (2) 利用者等の意見交換会の状況

<b>意見交換会の結果概要 (箕面市立老健独自)</b>	毎年、箕面市立老健ではアンケートの結果報告をふまえて、独自の意見交換会を行っていますが、令和4年度に引き続き、5年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できませんでした。
----------------------------------	--

## (3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

<b>取り組みの実施状況</b>	日々のご利用者様やご家族様からのお声、またアンケートによるご意見等を、毎月の運営会議や行事委員会、苦情委員会などの委員会活動において検討し、改善を図っています。長年いただいている「介護者の数を増やしてほしい」というご意見に対しまして、R6.10より外国人介護人材を確保し、充足に向けて取り組んでいます。
------------------	---

## 4. 収支状況

(令和5年度実績) 収入： 595,181,198円 支出： 605,675,447円 差額： △10,494,249円	(事業活動計算書より)
---	-------------

## 5. 特別提案の状況

<b>訪問リハビリの実施 (自主事業)</b>	入所および通所の「施設型」だけでなく、在宅へ出向く「訪問型」のサービスとして、平成29年12月1日からスタートし、徐々に利用者を増やしています。在宅復帰超強化型施設として、この入所、通所、訪問リハにより、ご利用者へつながりのあるサービス提供を進めていきたいと考えます。 (令和5年度実績) 利用者数：754.5人(延べ) (R4実績482.5人)
<b>市民向け講座の開催 出前講座の実施</b>	開かれた施設として、地域との連携、協力を行っていくために、例年講座を企画して、地域へ福祉の啓発や知識・技術の還元を行っています。R5年度は、認知症サポーター養成、認知症サポーターステップアップ講座、体力測定、失敗しない福祉用具の選び方講座、車いす体験を市民の方々向けに実施しました。また福祉教育への協力として、市内小中学校へ、高齢者疑似体験や車いす講習も実施しました。

## 6. 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルスが5類に移行したものの、利用者様・家族様には自由に面会できない不自由な環境が続きました。感染対策を実施していたもののR5.3月に3週間に及びクラスターが発生し、さらにR5.7月にもクラスターが発生したことで、ご家族をはじめ関係者にご心配をおかけしました。この影響で入所利用が大きく落ち込み赤字となりました。

利用者アンケート及び家族アンケートは、今回からGoogleフォームでスマートフォンやパソコンからでも回答できるようにし、11名の方がご利用されました。回答率は、利用者アンケートが47.9%（前年45.7%）で微増、家族アンケートが55.6%（前年40.3%）と増加しました。利用者の満足度という視点から質問項目の全体の満足度の平均は90.0%となり、昨年83.4%より6.6ポイント増加しました。

新型コロナウイルスクラスターによる落ち込みはあったものの、「看取り」を継続的に実施するとともに（R5の看取り件数は4人）、在宅復帰を支援する「在宅超強化型」老健として運営しました。福祉人材不足の影響から年々人員補充が厳しくなっておりますが、様々な求人媒体を活用し充足に努めるとともに、R6.10より外国人介護人材の採用を始めました。

ご利用者やご家族、求職者など関係者のみなさまにより市立老健を知っていただくため、施設独自のホームページをR5.3月に開設しましたが、ホームページから直接採用応募もあるなど効果が出ており、今後も施設の状況や雰囲気、内容などをお伝えするため、こまめな更新に努めます。またアンケートに寄せられた意見を参考に、更なる業務改善を図って参ります。